

## 女子高校生サッカー部キッズリーダー講習会

10月2日、15日に茨城県内で活動する女子高校生サッカー部（マネージャーを含む）を対象に「キッズリーダー講習会」を実施しました。5年前からスタートしたこのイベントは県内で活動する女子高校生が集まり、一緒に講習を受けることで高校の垣根を越えての交流も目的として実施しました。

10月2日は水戸の大成女子高等学校で「大成女子高等学校」「日立第二高等学校」「水戸三高」「常盤大学高等学校」の4校、76名で実技と講義の2グループにわけて、ここでも各校が混ざってのグループで行い、10月15日は石岡第二高等学校で「石岡第二高等学校」「土浦第二高等学校」「鹿島学園高等学校」の3校33名で実施しました。

講義ではまずアイスブレイクとして「他己紹介」を行い、2人のペアでお互いにインタビューを行い、その後、みんなにその人を紹介するというので、「固まった氷を解かすように」高校生の表情も和やかになり講義がスタートしました。講義では通常の「子どもの発育発達」や「年代に応じたトレーニング」などを説明しました。

実技では「まずは皆様が身体を動かすことを楽しんでください。そしてその『心』を持って子ども達に接してほしい」と伝えスタートしました。始めは緊張や遠慮をなくすことを目的に様々なグループ作りを行いました。（アイスブレイク）その後、4つのグループを作り「コーンたおしゲーム（ボールなし・ボールあり）」を行い、受講者の方から相手とかけひきをすることやアイデアを出すことが自然と見られ、楽しい環境が出来ていました。次に「ボールフィーリング」を行い、今回の対象がU-6なので一人にボール一個のトレーニングを経験して頂きました。



## 参加者コメント

- 子どもに楽しんでもらうために裏でたくさんの方が行われていることが分かった。小さな子が楽しむだけでなく、成長できるように考えられていることが分かった。自分も指導者の立場になったときに出来るようにしたいです。
- とても分かりやすく教えてくれたので小さい子のサッカーを知ることが出来た。サッカー少女が増えるといいなと思いました。ゴールデンエイジの頃が大切に神経系を育てるのが大事だと分かった。
- 知らない人ともコミュニケーションが取れて楽しかった。
- アイスブレイクをしたことで他のチームの人とも関わりやすくなったのでやりやすかったです。小さな子どもたちは一番、9～11歳で劇的に上達することがわかり自分の将来に生かしたいです。
- 他校の人たちと関わる事が出来ただけでなく、人間の成長やどうしたら、良い指導が出来るかなどを知ることが出来て良い経験になった。
- マネージャーなので普段あまり体を動かすことがないので手をつないだり、鬼ごっこしたり、ボールにさわったりするのはとても新鮮で楽しかった。鬼ごっこはたぶん一人ではずっと鬼のままだったと思うので誰かとペアを作ってやるのはすごく良いと思った。

## 講師コメント

### 宮本貴史（JFAキッズプロジェクト/JFA公認キッズリーダーインストラクター）

今回実技のパートを担当しましたが、受講者の方には手と足でボールを扱ってもらい、「どのような働きかけであれば6歳以下の子ども達が動いてくれるでしょうか？」という問いに対して丁寧に答えてくれたことを嬉しく思います。『キック』を目的とした「コーン当てゲーム」では、『当てる』ことのポイントとして『ねらう』、『ボールを注視する』、『カラーコーンに向かってまっすぐ足を振る』ことをトレーニングしながら伝えました。

最後の競争はとても盛り上がりましたが、『競争』をすることのメリット・デメリットも振り返りで伝えさせて頂きました。『ゲーム』は5対5を①ボール一個・②ボール二個で行いました。ボールを二個にした狙いは「もっとボールに関わってほしい」という想いを振り返りで伝え、上手くいっている時、いっていない時に『手段』があれば子どもにとってより良い環境ができるのではという話もさせて頂きました。子ども達だけが楽しめばいいのではなく、大人の方も一緒に身体を動かすことを楽しんでくれることを子ども達はとても喜びます！！子ども達の笑顔は大人を笑顔にしてくれますし、大人の笑顔は子ども達を笑顔にすると考えています。

以上

